

# 福岡県米麦大豆生産改善速報 第5号

令和2年10月5日  
福岡県  
福岡県米麦品質改善協会

## 大豆の生育概況と今後の対策

### 1. 気象経過 [太宰府アメダス]

	7月16日～9月18日 (64日間)				
	平均気温	最高気温	最低気温	日照時間	降水量
	℃	℃	℃	hr	mm
本年	27.4	32.5	24.0	355	629
前年差(比)	+0.0	+0.2	+0.1	109	67
平年差(比)	+1.0	+1.3	+1.1	101	142

### 2. 農林業総合試験場における大豆の生育概況

7月16日～9月18日の平均気温は平年に比べて1.0℃高く、日照時間は同程度、降水量は42%多かった。本年は、梅雨明けが7月30日と遅く、7月における日照時間は平年比46%、降水量は236%、無降雨日は4日のみであった。そのため、播種期は標準播で7月16日、晩播で7月30日となり、平年に比べてともに6日遅くなった。

7月16日播の開花期は平年(7月10日播)に比べて5日遅かった。9月18日時点の生育調査の結果、平年に比べて主茎長は26%短く、主茎節数は2.3節少なく、莢数は32%少なく、地上部乾物重は25%軽くなった。倒伏程度は少であった。

7月30日播の開花期は平年(7月24日播)に比べて4日遅かった。主茎長は9%短く、主茎節数は同程度、莢数は65%少なく、地上部乾物重は37%軽くなった。倒伏程度は無であった。

### 3. 農林業総合試験場農産部における調査成績 (フクユタカ：9月18日調査)

播種期	年次	苗立歩合	開花期	主茎長	主茎節数	莢数	地上部乾物重	倒伏程度
月・日		%	月・日	cm	節	/㎡	g/㎡	
7.16	本年	97.9	8.25	52	13.5	922	495	少
(7.8)	前年比(差)	+1.5	+5	72	-2.5	62	68	中
(7.10)	平年比(差)	+4.1	+5	74	-2.3	68	75	—
7.30	本年	92.2	9.3	54	13.6	350	311	無
(7.24)	前年比(差)	+0.3	+3	94	+0.3	39	70	無
(7.24)	平年比(差)	+6.2	+4	91	-0.1	35	63	—

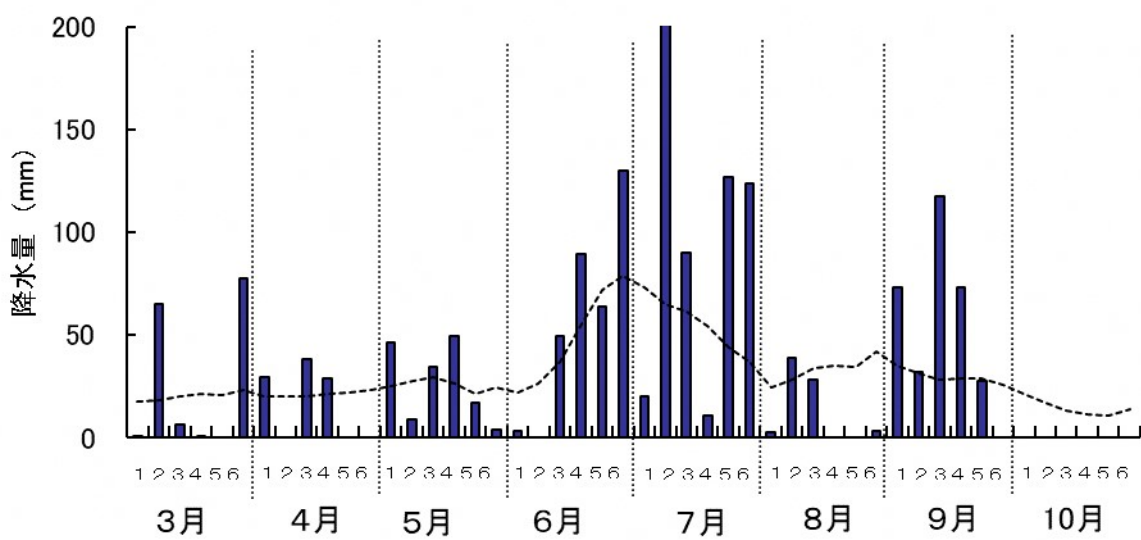
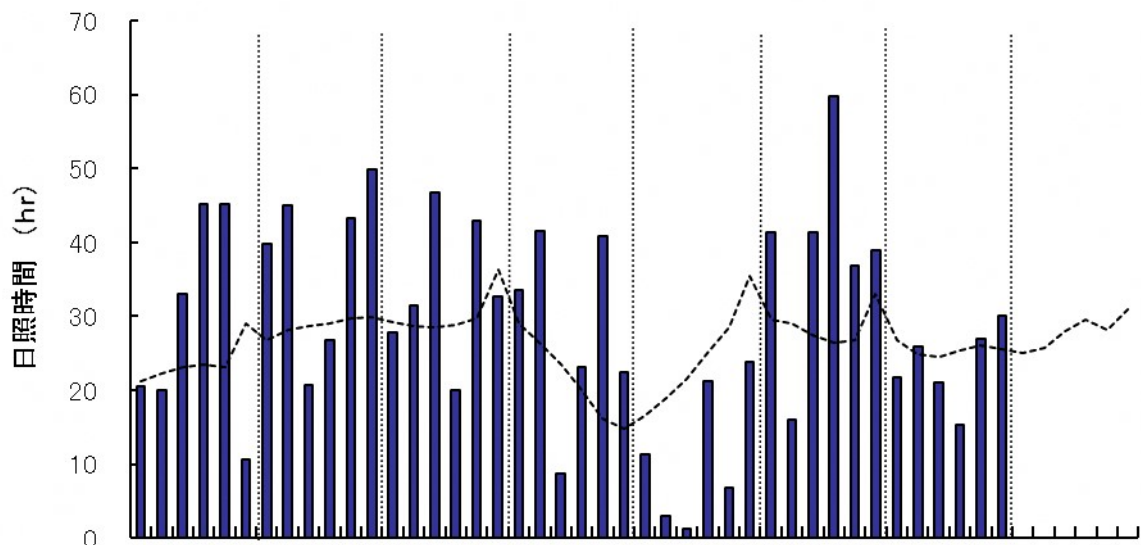
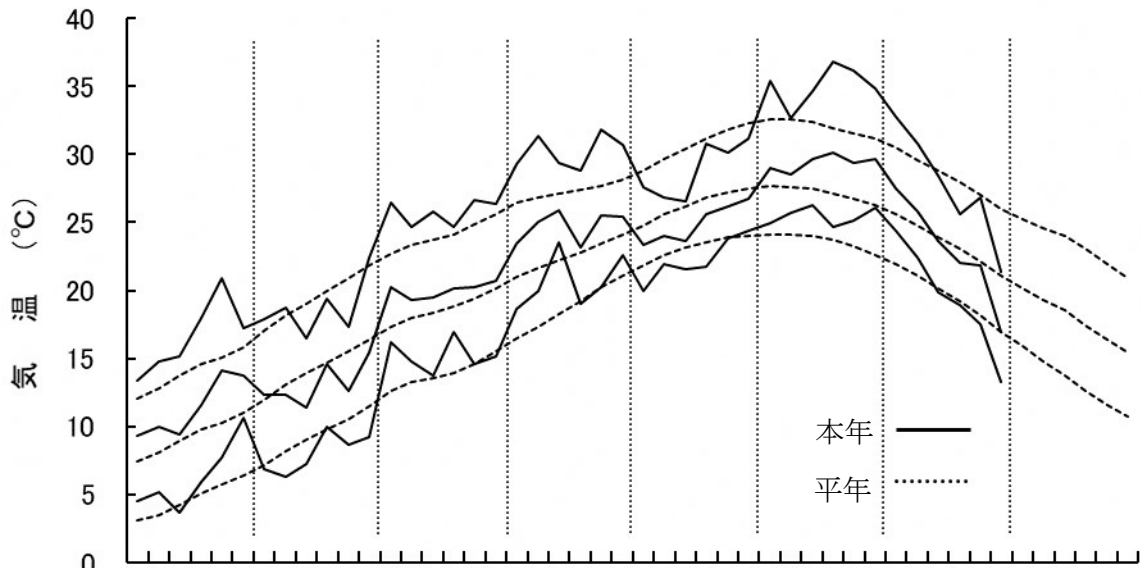
注1) 平年値は平成22年～令和元年の10か年平均値。なお、7月30日播種の主茎長、主茎節数、莢数および地上部乾物重は、平成22年および24年～令和元年の9か年平均値。

2) 播種密度 7月16日播：70×20cm(7.1株/㎡、2本立) 7月30日播：70×15cm(9.5株/㎡、2本立)

3) この数値は暫定値で、今後変更することがある。

### 4. 今後の対策

ハスモンヨトウやカメムシ類の発生状況に注意し、紫斑病とともに適宜、防除を実施する。排水口の再整備や枕地作溝を行い、降雨によるほ場内に停滞水が生じないようにする。雑草の発生が多い圃場では、特に大型雑草の抜き取り等を行い、収穫時の汚損粒発生防止に努める。



2020年夏作期間の気象 (太宰府アメダス)